



琴浦町生涯学習センター 改修工事基本設計(案) - 概要版 -

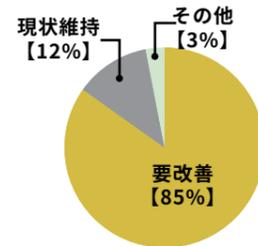
琴浦町 令和 3年5月

町民が求めるこれからの公共建築

まなびタウンとうはくは、生涯学習の場として平成9年に建設され、24年が経過した今、老朽化により空調をはじめ設備面で多くの不具合が生じ、改修・更新が必要になっています。加えて、公共施設レビュー(※1)から、施設全体のニーズの不一致や、階段や廊下の暗さなどにも通ずる施設全体の閉塞感、貸し室の稼働率の低迷、図書館の蔵書計画の見直しの必要性、周辺地域との連携の必要性、新しい生活様式への対応など様々な課題が浮き彫りになりました。

(※1) 公共施設レビュー：ランダムに選出された町民評価員によって公共施設の管理方針や利用実態などについての評価を行う会

公共施設レビュー意見グラフ



「利用率の低迷」「施設が暗く閉鎖的」など既存施設に改善を求める声が大半を占めた

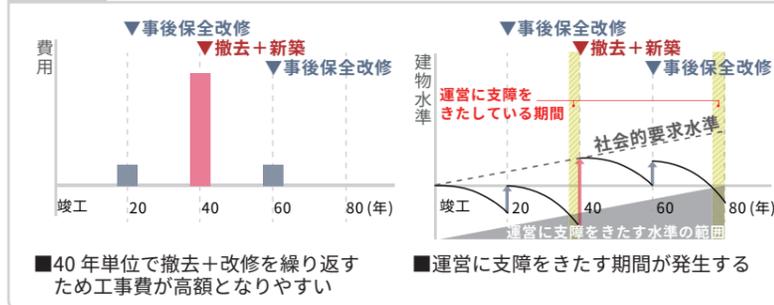
建物の規模適正化と長寿命化

人口減少が進む社会において、琴浦町の人口は2050年には建設当初の半数程度まで減少すると予測されています。また、生涯学習センターは町民の学習の場であるとともに、災害時における避難施設の役割や地域の活動・交流の場など、多様な機能を兼ね備えた拠点施設であることを踏まえ、

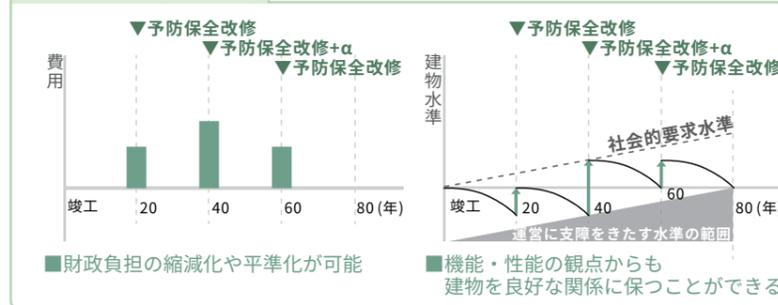
建物を適正規模とすること、建物の長寿命化を図ることの重要性が問われています。

建物の適正化は、工事費・維持管理費の削減につながり、長寿命化型改修は中長期的にみた財政負担の軽減に有効とされています。

【従来型】



【長寿命化型】(まなタン)

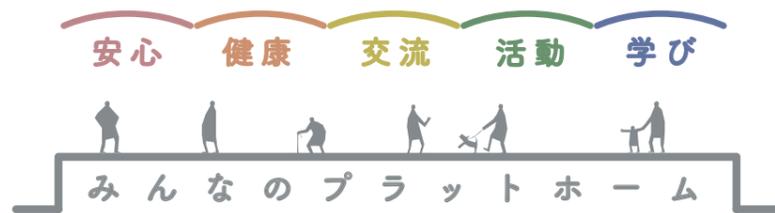


新施設の位置付け、コンセプト

生涯学習センターは、図書館を中心機能に据えながらも、新たな機能を加え、より多くの町民活動が行われる場として期待されています。事業の目的や近年の公共施設の課題から、以下の5つの施設像を掲げ計画を進めていきます。

安心、健康、交流、活動、学びという5つをキーワードに、図書館や貸し室のみならず、多世代の人々が集い活動を支える“プラットフォーム”として整備することで、町民が創造性を発揮する場となります。

- ① 安心・安全な、町民の拠り所となる施設
- ② 外気を取り入れられる設えとし、健康に寄り添う施設
- ③ 様々な人と出会い多世代が繋がる、交流を促す施設
- ④ 屋外との一体利用を見据え、屋内の活動が表出する施設
- ⑤ 本や資料の知識にふれ、多様な学びを楽しむ施設



計画概要

敷地概要

計画地 : 鳥取県東伯郡琴浦町徳万266-5
 敷地面積 : 4294.83㎡
 周辺道路 : 北側幅員7.1m
 用途地域 : 無指定

建築概要

主要用途 : 図書館
 建ぺい率 : 400%
 容積率 : 70%
 建築面積 : 1624㎡
 既存床面積 : 6617㎡
 基本設計案床面積 : 1階 1476㎡ 3階 985㎡ 5階 284㎡
 2階 1389㎡ 4階 954㎡ R階 160㎡
 延べ 5248㎡ (内改修床面積 5195㎡)
 階数 : 既存建物5階



基本設計に係る主な経緯

- 令和元年 11月 まちあるきワークショップ
- 令和2年 6月 オリエンテーション
- 8月 第1回町民ワークショップ
- 8月 プロポーザル実施公告
- 9月 プロポーザル提案一次審査
- 10月 プロポーザル提案二次審査及び当選者選定
- 10月 基本設計業務委託契約締結
- 10月 スタートダッシュ合宿
- 10月～令和3年4月 町民ヒアリングの実施(全34回)
- 10月～令和3年5月 定例会議の開催(全12回)
- 10月 インスタグラムアカウント開設
- 10月 第2回町民ワークショップ
- 12月 第3回町民ワークショップ
- 12月 モノコトラボ開設
- 令和3年 5月 成果品報告会・町民説明会

基本設計準備期間

基本設計期間

町民の声を集めるプロジェクト体制



①ワークショップ (ワークショップ業務受託者 arg作成「リノベーション計画書」より抜粋)



2019年度 WS(19.11.09) 第0回 WS(20.06.27) 第1回 WS(20.08.30) 第2回 WS(20.10.24) 第3回 WS(20.12.12)

運営計画における2つの方針 (ワークショップ成果)

- サービスデザインの方針
 - ・新しい生活様式における施設のあり方を検討し、社会変化に対応する施設を目指す。
 - ・複合施設として、さまざまな機能の融合を図る。
 - ・実空間と情報空間をつなぐサービスを導入する。
- 町民協働の方針
 - ・施設整備から運営まで連続性のある町民協働を目指す。
 - ・持続的な施設運営やサービスを町民と共に考え、実装していく。
 - ・町民の自主的なサポーター組織の立ち上げを支援する。



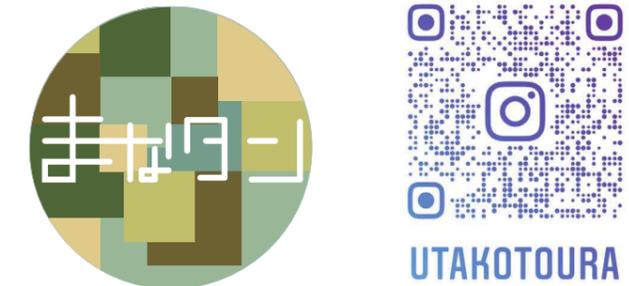
第2回 WS での意見 第3回 WS での意見

②スタートダッシュ合宿



WSにてプロボ案を説明 現況建物の調査

③広報活動



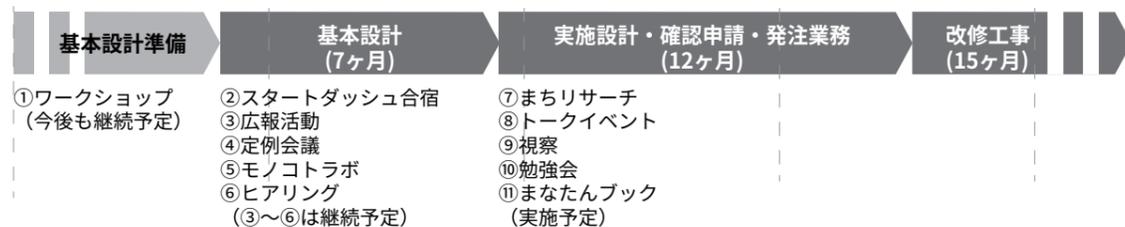
SNS アカウントの開設

④定例会議



第1回 (20.11.06) 第3回 (20.12.04) 第4回 (20.12.28) 第8回 (20.02.26) 第9回 (21.03.26)

計画スケジュール



⑤モノコトラボ

まなびタウンの2階談話室に、設計チーム、町役場、町民間で“もの”や“こと”を生むことができる「モノコトラボ」を開設しました。モノコトラボは、町民意見の収集の場、改修計画についての情報の発信の場として機能します。継続して様々な活動を行い、より多くの町民に関心を持って頂くことを期待しています。また、将来的に、施設運営にも関わってくださるパートナーとしての町民と出会い、共に活動することを目指していきます。

基本設計期間 町民意見収集



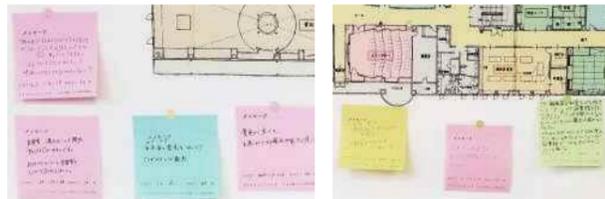
まなびタウン2階の談話コーナーでの意見収集



集まった町民意見



モノコトラボ設営の様子



様々な年代の意見が集まる



米子高専生にも協力いただく

基本設計終わり 成果品報告会/模型展示



模型展示設営の様子



改修計画の模型 S=1/100

⑥町民ヒアリング

2020年10月～2021年4月の期間で、琴浦町関係者や子育て世代の方々、まなタウンの利用者さん、地元サークルの方など、計34回のヒアリングを行い、200を超える意見をいただきました。意見の4割は交流スペースに対するものであり、次いで機能部、駅や駅前に対する意見が多く挙がっていました。

基本設計期間に行ったヒアリングの様子



20.10.23

20.10.23

20.10.23

20.10.24



20.10.25

20.10.26

20.10.26

20.10.26



20.11.05

20.11.05

20.11.05

20.11.19



20.11.20

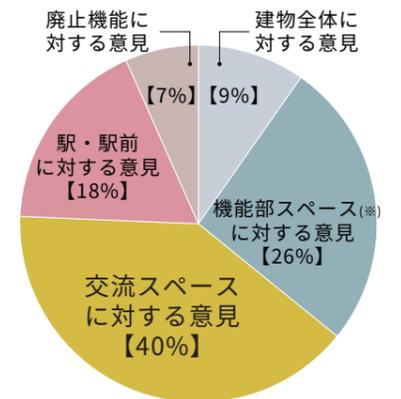
20.11.29

21.03.26

21.04.03

現状の施設から大きな改善を求める声も多く、まなタンがより多くの町民に開かれた琴浦町の拠点となることが求められています。ヒアリングは実施設計期間にも継続して行い、随時計画案へと反映させていく予定です。

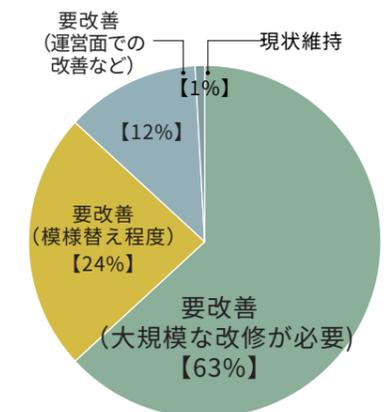
対象箇所からみる町民意見グラフ



「おしゃべりするスペースが欲しい」「0~100才までくつろげるスペースが欲しい」など、40%が交流スペースに対する意見であった。

(※)機能スペース：図書館、多目的ホール、屋内遊び場など

改修程度からみる町民意見グラフ



「駅からの視認性を良くして欲しい」「人と集まる場所が欲しい」など9割を越える町民から要改善の声があがっている。



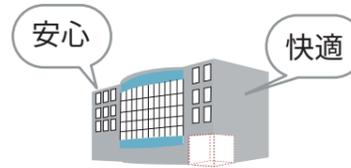
西側外観 テラスに町民の賑わいがあられ施設の顔をつくる

建築設計における5つの方針

1 安心

災害時の拠点としての機能

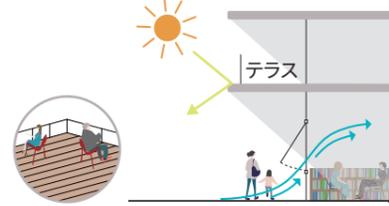
減築や吹抜けによって建物を軽量化し、さらなる耐震性の向上を図ります。また災害時のために1階に備蓄倉庫を整備し、安心・安全な避難拠点としての機能を確保します。



2 健康

健康へ向かう居場所となるテラス

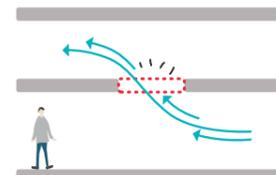
屋外で活動でき、感染症へ対応するためのテラスを設けます。また、吹抜けと合わせて計画することで、施設全体に自然光を取り込み、自然換気も促します。



3 交流

交流を導く吹き抜け

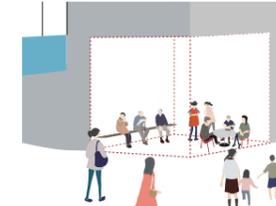
吹き抜けを設けることで、階をまたぐ断面的なつながりをうみ、移動経路を複数計画することで、連続する多様な居場所をつくります。



4 活動

町の顔となるエントランス

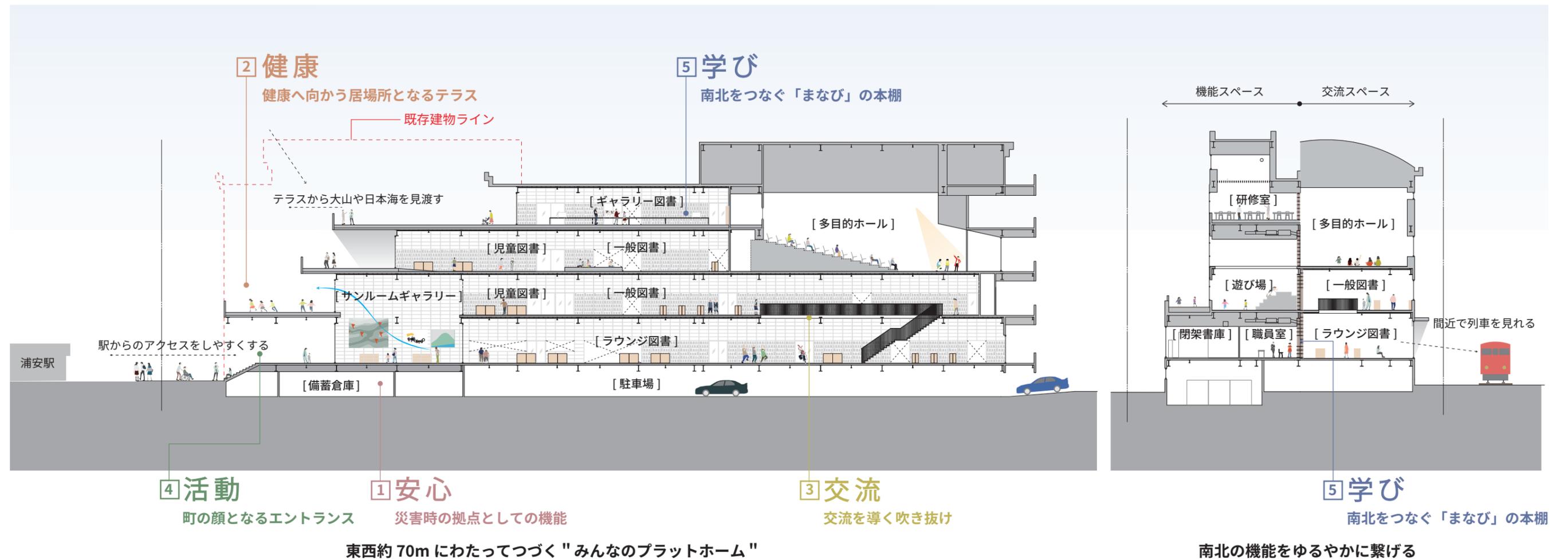
誰もが入りやすい開放的なエントランスをもつ施設を計画します。施設内での多様な町民活動を可視化し、利用を促す仕掛けとします。



5 学び

南北をつなぐ「まなび」の本棚

建物の中心軸に情報の集約、発信の拠点となる本棚を設置し、人や情報との新しい出会いを創出します。中心軸の本棚から南側に交流スペース、北側に遊び場や貸室等からなる機能スペースを配置します。



全体構成

東西約 70m に渡って連なる本棚を介して、北側に機能スペース、南側に交流スペースを配置する計画とします。機能スペースには多様な貸し室や遊び場が並び、交流スペースにはラウンジ図書、カフェ、打合せなど音環境や家具の異なる居場所が並び、多世代の町民が思い思いに過ごすことができます。さらに、各階は吹抜けを介して繋がり、建物全館を通して学べる施設となることを目指します。

子育て支援機能

【遊び場】

遊び場は3、4階をまたぐ構成とし、利用者の棲み分けを行いつつ一体的な空間となるよう計画します。遊び場の入り口を3階のエントランス付近に配置し、外部から訪れやすい位置とします。

事務機能

【職員室、配本室、閉架書庫】

事務機能は2階にまとめて配置し、車庫からの動線に配慮した計画とします。運ばれてきた本は、配本室で整理され、図書館用昇降機と一般用エレベーターを経由し、各階に陳列されます。

図書・情報機能

【一般図書、ラウンジ図書、静寂読書室、児童図書、ギャラリー図書、待合ラウンジ】

2階「ラウンジ図書」「一般図書」3、4階「一般図書」「児童図書」、5階「ギャラリー図書」と多様な図書空間を配置します。上階に行くにつれ静かなエリアとなるよう計画します。

文化振興機能

【ものづくり、調理室、多目的ホール、サンルームギャラリー、会議室(大)、会議室(小)、研修室】

各階に特徴ある貸し室を配置し、階毎に異なったテーマをもつ施設となるよう計画します。

健康維持機能

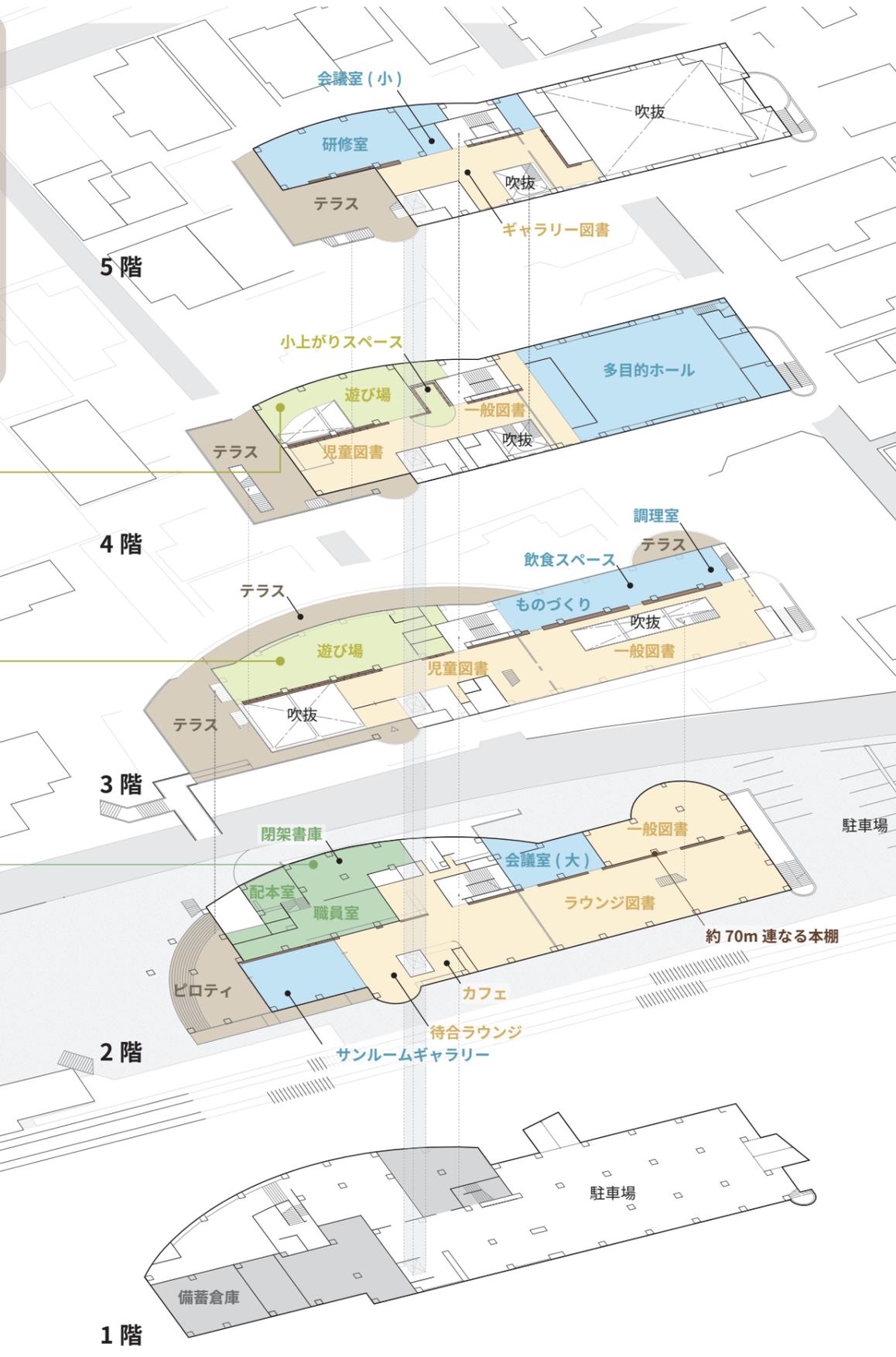
【テラス、ピロティ】

各階にテラスを配置し、吹き抜けと合わせて計画することで、自然の通風や採光を建物どこからでも身近に感じられる施設となります。施設内のあらゆる場所で外気を取り入れられるしつらえとし、様々な活動を許容することで、健康に寄り添う施設となることを目指します。

防災機能

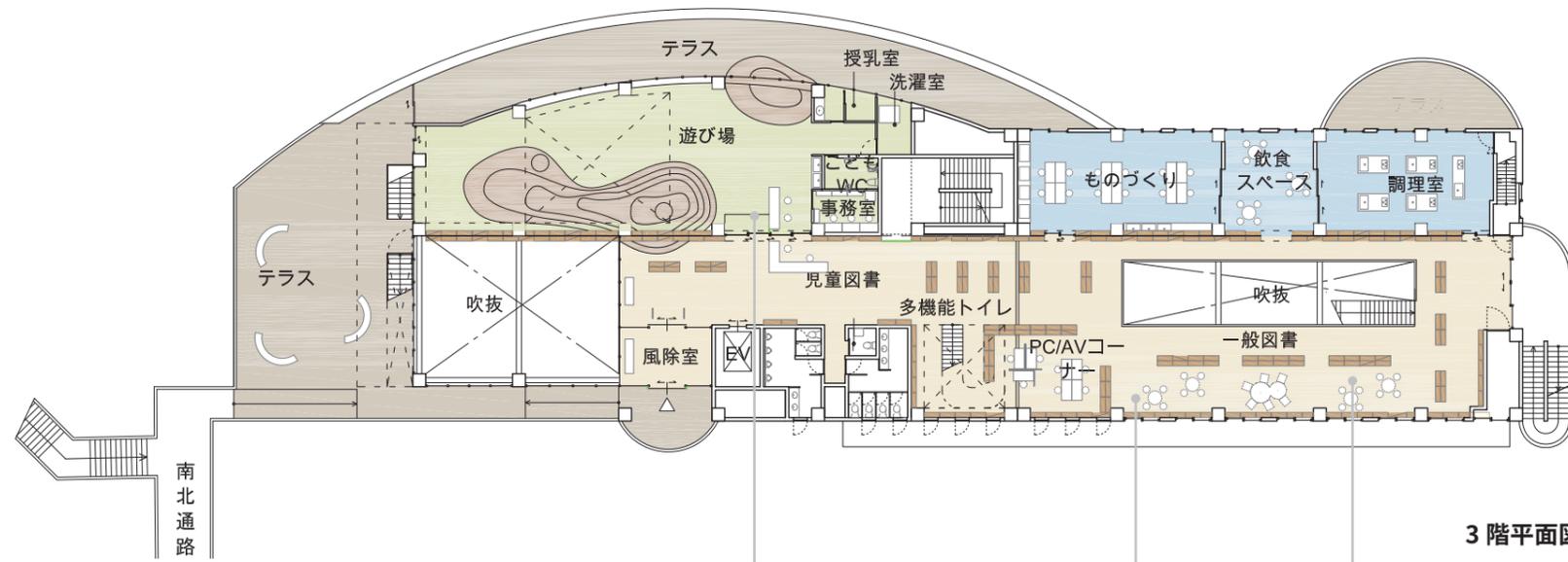
【備蓄倉庫、(会議室(大)、多目的ホール、研修室)】

1階に備蓄倉庫を備え、2階会議室、4階多目的ホール、5階研修室の非常用電源を整備することで、非常時でも多様な空間が稼働する計画とします。





2階ラウンジ図書 様々な世代の交流の場となる



3 階平面図 S=1:400

全館配架・テーマ配架

各階に図書を分散配置させながらも、複層建築の特徴を生かし、フロアテーマを設定するなど、多様な居場所を持った図書空間を計画します。

子どもが集う屋内遊び場

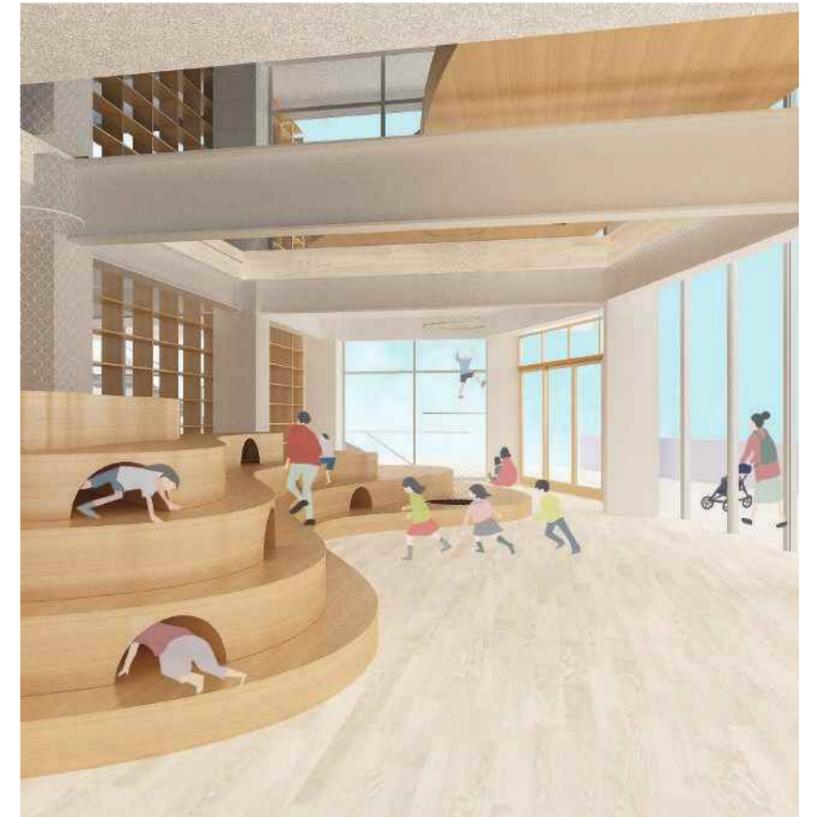
天候に左右されず子どもたちが思いっきり遊べる屋内遊び場は、棚田状の遊具で構成されます。遊具は一部室外や屋外へと延長し、誰もが自由に利用できる家具へと用途を変えます。

ものづくり

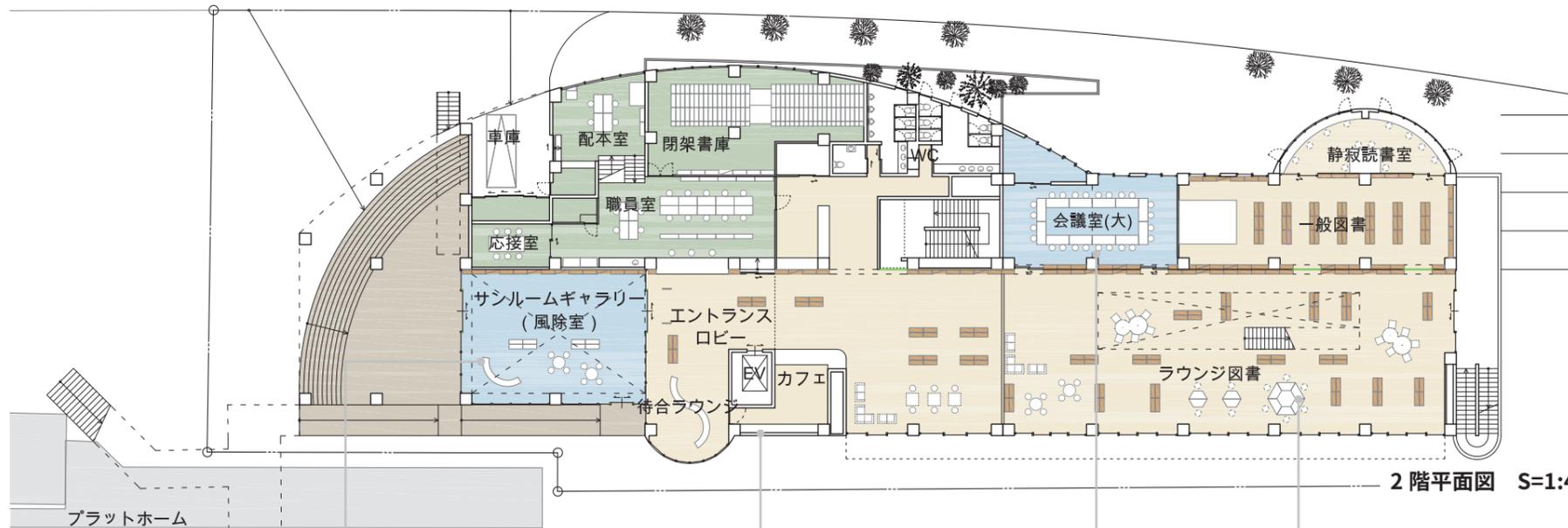
子どもから高齢者まで、書道・絵・工作などを通して触れ合いができる場となります。また、3Dプリンタやレーザーカッターなど、最新機器の導入も検討しています。

調理室・飲食スペース

調理室は、飲食スペースと連続するしつらえとし、一体利用も可能とします。また、利用されない時間は開放します。



3階遊び場 子どもたちの自由な発想を喚起させる遊び場



2 階平面図 S=1:400

情報拠点としての待合ラウンジ

エントランス付近に駅の待合コーナーもかねるラウンジを計画します。町内外での市民の活躍が見られる場となります。



多世代が集えるカフェ

エントランス近くに誰でも利用できるカフェを設置し、誰もが目的がなくても自由に入力できる施設となるよう計画します。



可変式の会議室

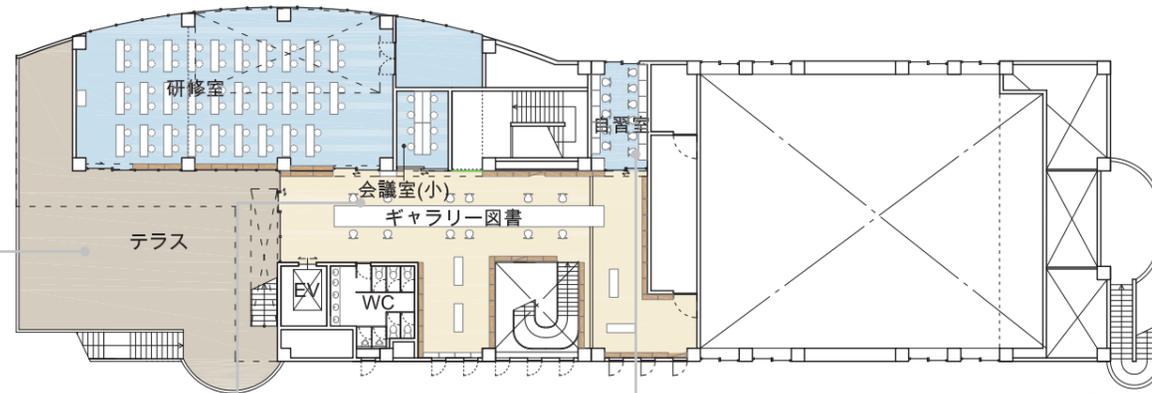
会議室は活動に応じて、広い空間と仕切られた空間を選択できる必要があります。パーティションを用いて様々な利用方法、利用人数に対応できる会議室とします。

多様な図書空間【ラウンジ図書】

様々な年代が集い、隙間時間を楽しく過ごせる場となるよう計画します。グループワークやイベントなどの活動にも対応できるしつらえとします。



2階交流スペースイベント時 使い方に合わせて書架の配置を柔軟に変更



5 階平面図 S=1:400

景色を楽しむテラス

最上階のテラスは、町民が自由に利用でき、南に連なる大山や、北に広がる日本海など、琴浦町の豊かな自然を望める場所となります。



静かな展示空間【ギャラリー図書】

現在の郷土資料館の書物や展示品を含め、簡易ギャラリーと図書が併設されることで、町民同士で知識や情報を共有できる環境となります。展示内容に関連した蔵書計画も検討していきます。

多様な学習空間

音を遮断できる自習室を北側に配置し、町民の多様な要望に対応した学習空間を計画します。

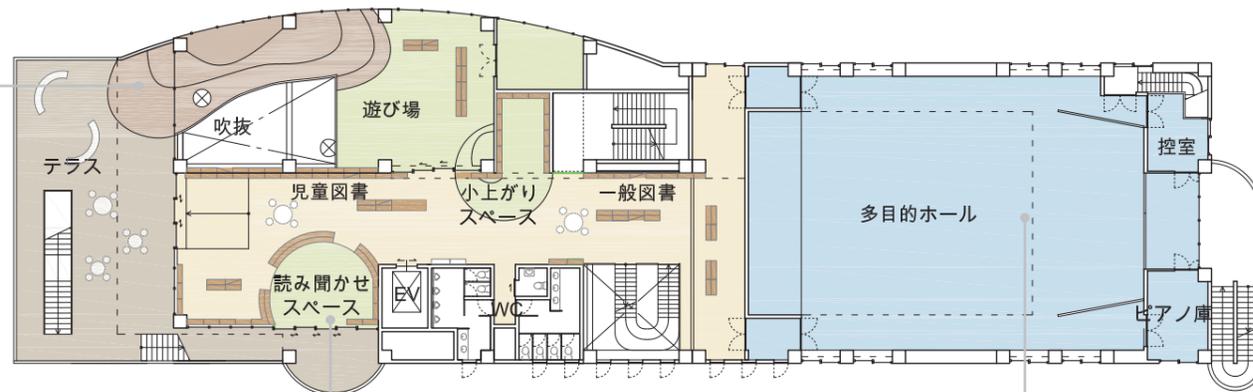


大人数の活動を可能にする研修室

研修室は、既存施設と同規模の会合や研修などを可能にする広さを確保しています。加えて、南側テラスとの一体利用や、パーティションを用いて部屋を分割できる仕様とすることでこれまでより幅広い活動を可能にします。



5 階テラス 海や山が望める最上階のテラス



4 階平面図 S=1:400

賑わいや活動が表出するファサード

建物壁面のガラス化や段々に連なるテラスによって、駅や町からの視認性を向上させます。町民の活動が屋外から見え、新規利用者も興味を持つきっかけとなります。

親子で楽しめる空間

4 階の読み聞かせスペースは、親子連れが集まり、悩みを相談でき、協力しあえる安心の場となります。



町民にひらかれた多目的ホール

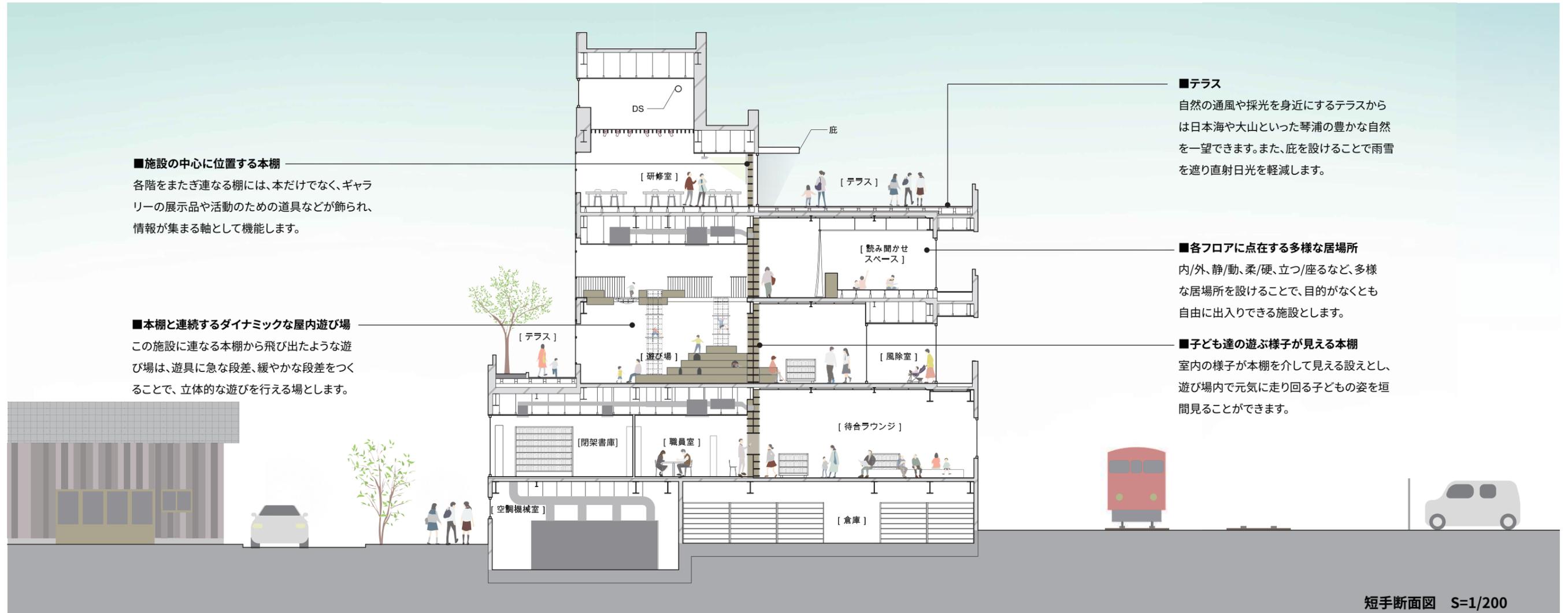
町民が演者であり観覧者でもある、多目的ホールは、室内から東側の景色が望める唯一無二の空間となるよう検討していきます。また、既存ホールのように平土間、段床客席の両方のしつらえが可能で、目的に合わせて空間が変容する想定です。



4 階多目的ホール 町民に開かれた明るいホール



4 階読み聞かせコーナー 親子で楽しめる場となる



■施設の中心に位置する本棚
各階をまたぎ連なる棚には、本だけでなく、ギャラリーの展示品や活動のための道具などが飾られ、情報が集まる軸として機能します。

■本棚と連続するダイナミックな屋内遊び場
この施設に連なる本棚から飛び出たような遊び場は、遊具に急な段差、緩やかな段差をつくることで、立体的な遊びを行える場とします。

■テラス
自然の通風や採光を身近にするテラスからは日本海や大山といった琴浦の豊かな自然を一望できます。また、庇を設けることで雨雪を遮り直射日光を軽減します。

■各フロアに点在する多様な居場所
内/外、静/動、柔/硬、立つ/座るなど、多様な居場所を設けることで、目的がなくとも自由に入出りできる施設とします。

■子ども達の遊ぶ様子が見える本棚
室内の様子が本棚を介して見える設えとし、遊び場内で元気に走り回る子どもの姿を垣間見ることができます。

短手断面図 S=1/200

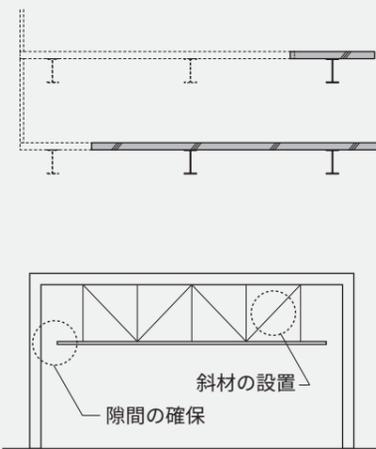
■構造計画について

安心、安全な構造計画

図書館の全館配架、吹抜け設置、建物の減築等を考慮して、積載荷重、骨組みの再設計又は補強等について計画します。また、竣工後の法改正に合わせ、現行法規を満たす建物とすることを目標として計画します。

多目的ホール天井の特定天井への対応

本建物の多目的ホールの天井は、「特定天井(2013年に東日本大震災の天井被害を受けて法改正された、天井の脱落によって重大な危害を生ずる恐れがある天井)」に該当します。本改修計画では天井落下の防止措置や天井の振れ止め等の適切な補強を行い、新築と同等の耐震安全性能を確保する計画とします。



■機械設備計画について

地域特性に応じた改修工事の対応

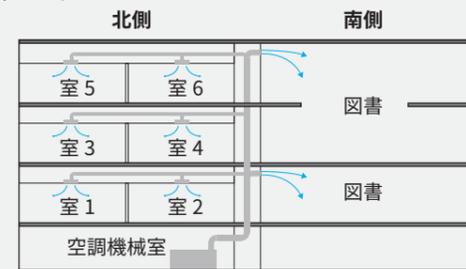
海に近い敷地のため塩害への対応に配慮し、積雪を含めた山陰の気候特性を把握し、年間を通して快適な室内環境の設計を行い地域特性に配慮した設備計画を目指します。

南北に分けた空調ゾーニング計画

南側は吹抜けや階段を介して一体となった図書館スペースとなり、全体換気による換気量の増強を図ります。点在する読書スペースで空調を個別に制御できるようにし、居心地の良い空間と省エネルギー化を目指します。北側は区切られた異なる用途の室が配置されるため、個別に空調が行えるように計画します。

節水機器及び感染症対策

水廻り機器については節水器具への更新を行い、水栓については非接触型の自動水栓を採用し、感染症対策を図ります。



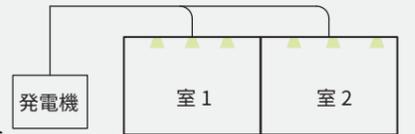
■電気設備計画について

既存を活かした効率的な計画

比較的既存状態の良い部材に関しては積極的に再利用します。必要な箇所への集中的な更新により、持続可能な設備計画とします。またLED照明の採用や将来的な余力を持たせた配電計画などにより、ランニングコストの低減及び将来的な設備更新のし易さも兼ね備えた計画とします。

災害時の十分な防災対策

災害時等、商用電源遮断時にはBCP対策として一部エリアで電力を72時間確保可能な計画とします。発電機運転用の既存燃料タンクを増量し、特定エリアでの一部照明・コンセント・空調などを運転可能とするバックアップシステムを構築します。





琴浦町町長



琴浦町副町長



琴浦町教育長



琴浦町社会教育課



琴浦町社会教育課



琴浦町社会教育課



琴浦町総務課



琴浦町総務課



琴浦町総務課



琴浦町総務課



図書館館長



図書館司書



図書館司書



琴浦町子育て応援課



琴浦町すこやか健康課



琴浦町企画政策課



琴浦町学芸文化係



多目的ホールオペレータ



ワークショップ



ワークショップ



設計 (意匠)



設計 (意匠)



設計 (意匠)



設計 (意匠)



設計 (意匠)



設計 (意匠)



地元建築家



設計 (構造)



設計 (構造)



設計 (電気)



設計 (電気)



設計 (機械)



多目的ホールデザイン



多目的ホールデザイン



米子高専教師



米子高専生



米子高専生



米子高専生



米子高専生



米子高専生



米子高専生



米子高専生



米子高専生



米子高専生



米子高専生



第2回WS